

令和８年度 第４回飯島町自治組織あり方検討委員会  
会議録

と き：令和８年７月２７日 午後７時００分～９時１２分

ところ：飯島町役場 西庁舎 営農研修室

出席者（委員：２４名）

|      |                  |            |
|------|------------------|------------|
| 委員長  | 飯島区・区長           | 新井 隆廣      |
| 委員   | 田切区・区長           | 堀内 善之      |
| 委員   | 本郷区・区長           | 久保田 英一     |
| 委員   | 七久保区・区長          | 村田 繁樹      |
| 委員   | 飯島公民館・館長         | 倉澤 信二      |
| 委員   | 田切公民館・館長         | 芦部 守彦      |
| 委員   | 本郷公民館            | 林 成昭       |
| 委員   | 七久保公民館・館長        | 紫芝 守（欠）    |
| 副委員長 | 鳥居原自治会           | 成澤 晃明      |
| 委員   | 赤坂自治会            | 高橋 圭一      |
| 委員   | 春日平自治会           | 紫芝 勉       |
| 委員   | 北河原自治会           | 山田 正志      |
| 委員   | 本郷第一自治会長         | 堀越 晃滋（欠）   |
| 委員   | 本郷第六自治会          | 米山 誉智      |
| 委員   | 荒田自治会            | 那須野 彰      |
| 委員   | 七久保自治会・会長／新田自治会長 | 湯沢 要次      |
| 委員   | 子育て世代            | 杉本 友利恵（欠）  |
| 委員   | 子育て世代            | 吉川 さくら     |
| 委員   | 移住者              | 松井 芳昭      |
| 委員   | 移住者              | 入田 裕加里     |
| 委員   | 移住者              | 新家 淳史      |
| 委員   | 公募               | 久保田 えりか（欠） |
| 委員   | 公募               | 渡邊 恵美菜     |
| 委員   | 公募               | 唐澤 岐瑠      |

（アドバイザー：１名）

松商学園松本大学総合経営学部観光ホスピタリティ学科 教授 白戸 洋

（事務局）

|             |        |
|-------------|--------|
| 飯島町長        | 唐澤 隆   |
| 飯島副町長       | 宮下 寛   |
| 企画政策課 課長    | 座光寺 満輝 |
| 企画政策課企画係 係長 | 西村 務   |
| 企画政策課企画係 主査 | 大澤 志織  |
| 企画政策課企画係 主任 | 堀内 康佑  |

1. 開会（副委員長）

2. 委員長あいさつ（委員長）

3. 協議事項

— 内容について説明（西村係長） —

（白戸先生より補足説明）

・それぞれの課題やテーマがあるのでそれに従ってお話いただければと思いますが、あんまり煮詰まらない程度に好きなことをまず言っていただくことから始めていただければ。自由な発想はとても大事だと思いますので、楽しくお話をしたい。

— 3班に分かれ、役割決めの後フリートーク（60 分間） —

— まとめ（10 分間） —

— 休憩（5 分間） —

— 発表 —

**1 班**（発表：芦部委員）

テーマ：組織の運営

① 役員の担い手不足解消・負担軽減 ②区費・自治会費の費用負担の明確化

- ・役員構成について、選出方法は決められたほうが出やすいのではないかな。自治会長は準備期間を経て、任期が終われば苦労役に回るような、仕事もマニュアル化して進めたほうがよいのではないかな。
- ・負担軽減について。働き方の変化や、自分の職業の関係で負担軽減しづらいところもあるが、町からの依頼業務が多いので減らしてほしい。モデル地区で進めるやり方かどうかと話が出た。
- ・会費の件で、未加入とかの方に対して不公平感があるので解消することができないかな。未加入の方が得するようなあり方は良くないのではないかな。
- ・集金の内容がみんなに周知徹底されるような中で、明確化して集めるほうが間違いがなくて良い。
- ・集金するのが大変。集金する人の負担軽減方法。IT を活用したり、アプリを活用したりして、振込などのやり方を構築する。

**2 班**（発表：堀内委員）

テーマ：組織の活動（共通）

① 自治組織と関係する団体との関係 ②防災活動、環境美化活動等の見える化

- ・自治組織と関係する団体との関係について。町、社協、公民館、地域づくり委員会、がしっかりと関わっている団体として話し合いをした。社協の会費や寄附があるが、なかなか社協の活動自体が周りに浸透しておらず、なんのために寄附を集めるのかなど理解がないためそういったことが皆さんに理解されていけば解消されるのではないかな。
- ・町からの役割の依頼が多すぎる。
- ・移住してくる方に対しての各自治会の取説などのいろんな説明がもう少し必要なのところもあるのではないかな。
- ・区によっては区費や、年齢によって区費の免除や作業の免除をしているところもあったりするので、そういったところも検討できるのではないかな。
- ・地域づくり委員会について。公民館、自治会、区などが入った組織だが、地域づくりという事で地域を活性化しようとやってきていたが、一部のところは偏ってしまっていたり、活性化のためにイベントをやっていたが、全員のためのものになっていないのではないかな。各部会を作り、企画運営をするよう試験的にやり始めている。
- ・赤い羽根などの寄附について。寄附なのでそれぞれ自由でいいと思うが、自治会によっては額が決まっていたりする。寄附を少なくしていったほうがいいのでは。
- ・自治会がなぜ必要かということを考えると、防災や環境美化のことを考えたときに、自治会という組織が必要なんじゃないかな。ゴミの問題なども全体的に見える化し、みんなで考えていくべき。
- ・自治会ごとの各作業の際に出不足金の集金があったり、負担軽減をしているところもあったりするので検討するべき。
- ・役員のなり手が不足し、高齢化が進んでいる中で、どうやって自治会を維持していったらいいかという話もあった。

### 3班（発表：倉澤委員）

テーマ：組織の活動（任意）

#### ① 行事・イベントの見直し ②自治会への加入促進

- ・神社のお祭りやイベントなどは、宗教の違いがあったり、宗教のことが難しくてわからない、出ないなどの意見。
- ・行政がかかわる井ざらい、草刈りなどは補助金との関係もあり、やめることはできないのでは。
- ・育成会での子どもの関係のイベント。子供がいる活動というのは、大人もかかわっていく必要があり、積極的に進んで関わってくれている印象がある。
- ・公民館行事はスポーツ大会や敬老会、運動会、文化祭などたくさん行事があるのでいろいろ意見が出た。スポーツ大会などはだんだん人が参加しなくなってきているため、イベント自体をまとめて開催したらどうか。
- ・参加者が少ないこともあるため新しいニュースポーツをやってみたらどうか。
- ・育成会と敬老会を組み合わせ、子供とお年寄りが触れ合える機会があったらいいのではないかな。

- ・活動の見直しをしようとしても、声の大きい人の意見が通ってしまうため、改革がなかなかできない環境にある。

#### — 白戸アドバイザーより講評 —

- ・色々問題がたくさんあったときに、解決できるところからアイデアを。そういった知恵を出していくことが必要。
- ・これは今後皆さんに考えていただければと思いますが、いろんな活動があって、大変なものをできるだけ楽しようというふうに考えるんですが、嫌なものはやはり楽しなきゃ嫌。なんで嫌、負担に感じているかという、何のためにやっているかわからない、メリットが理解できていないため嫌という気持ちに繋がり、そこが曖昧になっているところがある。
- ・女性が少ないという話が出ましたが、私の町会で新年会をやっている。そこで女の人は料理をしていたりする。それが当たり前でずっと続けてきていたが、その年の町会長が料理をケータリングに変えたが、反対意見が出た。ちっちゃいことだが、そういったものが積み重なって嫌だなという気持ちになっているところはある。
- ・防災について。防災よりも身近な暮らしの課題に焦点を置くと、もう少し地区の皆さんが考えてもらえるかなと思います。
- ・地域づくり委員会について、ネットワークというのは目的があって初めて機能するもの。ネットワークがあるから何かができるわけではなくて、何かをするためにネットワークを作るので、もし何かをするという目標がないと、ネットワークは負担になるだけ。何をを目指すのかという事を考えていくことがこれから必要。
- ・イベントについて例えば運動会だと、昔は厳しい労働を強いられる中で、羽を伸ばす機会がなく、エネルギー発散するためにやっていた。農業が主体だったので水争いなどがあって、娯楽がなかった時代に点競争や連帯感を高めるためにやっていたことが、時代の変化の中で変わってきていることがたくさんあるので、見直さなきゃいけないことが増えてきている。そもそもこれはなんのためにやっているのかということを考える。ひとつひとつの行事は何か意味があって始まっているため。
- ・自治会や町会は、目の前のことに対応し、集落にいる人たち全員にとって良いものでなければできない。それと違って公民館は、少数でやっていることもある。その一部の人たちのやりたいことと、5年先10年先の課題が将来的にどう大きな問題になってくるかという事を例えば自治会や町会で考えることが必要。自治会と公民館で役割的に同じことをだぶってやるというよりかはそれぞれの本来の目的を考えて整理していくことが大事。

#### 4. その他

##### — 今後のスケジュールについて説明 —

#### 5. 閉会（副委員長）